

# 校長室だより

第4号

柏原市立堅下北中学校

校長 石田 智

令和5年7月3日（月）発行

## ○2年生校外学習

少し前になりますが、6月8日（木）、2年生は大阪市内に校外学習に行ってきました。今年度は新たな訪問先として、長居植物園、あべのタスカル（防災センター）、まほうびん記念館を加え、合計8カ所のチェックポイントを設けました。生徒たちは事前に各班で相談の上、その中から2～3カ所を訪れる行程を組み、当日はそのコースを辿りました。

今回の校外学習の目的は、来年の長崎での修学旅行にむけて、班で協力して自分たちの力で各チェックポイントをまわりきることに加え、秋に4年ぶりに実施される職業体験学習を見据え、様々な仕事に触れるということでした。フィールドワークする範囲は来年訪れる長崎よりもずっと広く、電車の乗り継ぎも複雑です。私も法善寺駅から後をついて行きましたが、途中の駅で迷っている班をいくつか見かけました。そんな中で感心したのは、どの班も駅員さんや周囲の人々に聞いて、大きく時間に遅れることなくチェックポイントに辿り着いていたことです。また訪れた施設の方にきちん挨拶ができていたことや、電車内では静かにマナー良く過ごしていたことなども感心したポイントです。目的どおり、職業体験や来年の修学旅行につながる成果があったと感じています。

現在、各自が校外学習で学んだこと等を新聞にまとめる作業を行っています。12日（水）からの学期末懇談会の際に廊下に掲出する予定ですので、ぜひご覧になってください。



## ○インターネット・スマートフォン安全教室

6月22日（木）の6時間目に、体育館にて「インターネット・スマートフォン安全教室」と名付いた講演会及び勉強会を行いました。講師にはNPO法人「奈良地域の学び推進機構」より、奈良県や

大阪府内各地で数多くご講演されている著名な方をお招きしました。文字では感情が伝わりにくいことや、感情をぶつけるような書き込みは脅迫罪や侮辱罪にあたる可能性があること、軽はずみな行為が一生を棒に振るようなことになりうること、そしてSNSを介した犯罪や事件など、約1時間にわたり生徒同士の話し合いの場も設けながら分かりやすく教えていただきました。

現代人の生活にインターネットやスマートフォンはなくてはならないものになっていますが、それは生徒も同様です。**昨年度の本校生徒のスマートフォン所有率は96.6%**と高い上に、**平日に3時間以上使用している割合は62%**にもものぼっており、大阪府平均よりもかなり高いことが分かっています。今一度ご家庭で使用にあたってのルールをについて話し合ってください、使用状況の把握に努めていただきますようお願いいたします。



## ○教職員の働き方について

文部科学省の教員勤務実態調査（令和4年度）によると、国の指針で定める「月45時間」の上限を超える時間外勤務をしていた中学校の教員は77.1%であり、「過労死ライン」と言われる「月80時間」を超える時間外勤務をしていた中学校の教員は36.6%だったとのことです。報道ではこの結果から教員の長時間労働が問題として取り上げられていますが、本校ではこの4月と5月に80時間を超えた教員の割合は50%を超えているというのが現状です。教員が心身ともに健康であることは、良い教育を行うための不可欠な要素です。そこで本年度は教職員がワークライフバランスのとれた持続可能な働き方ができるよう取組みを進めています。そのため今後、「以前はこの時間でも電話に出たのに」や「前の顧問の先生はもっと長い時間指導してくれたのに」などとお感じになることもあるかもしれませんが、それは先述のような経緯があつたことですので、ご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※ 学校の日々の様子はホームページに適宜アップしております。是非ご覧ください。

堅下北中学校ホームページ

